

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 29 年 6 月 1 日 (2017.6.1)

【公開番号】特開 2015-220478 (P2015-220478A)  
 【公開日】平成 27 年 12 月 7 日 (2015.12.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-076  
 【出願番号】特願 2014-100229 (P2014-100229)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/74 Z

H 0 4 N 5/66 D

G 0 3 B 21/14 D

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 14 日 (2017.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

また、付加レンズ 70 は、アスペクト比 16 : 9 の画像を 2 . 3 5 : 1 のシネマスコープサイズに画角を拡大するアナモフィックレンズを想定するが、これには限定されない。また、集光特性が直交する 2 方向で異なるトーリックレンズやシリンドリカルレンズ等の非軸対称レンズや、画像光を半球状の投写面に投写する魚眼レンズ等も想定できる。

装着検出部 58 は、投写光学系 66 に付加レンズ 70 が装着されたことを検出し、装着を示す装着信号を OSD モード決定部 42 に送る。本実施形態では、押圧スイッチや光電スイッチ等で付加レンズ 70 の着脱を検出する態様を想定するが、これには限定されない。例えば、投写画像を撮影するための CCD カメラをプロジェクター 10 が備える場合、CCD カメラが撮影した投写画像のサイズ等を解析して付加レンズ 70 の装着を判断しても良い。尚、装着検出部 58 は検出部に相当する。